

令和2年度第2回協議会の委員意見への対応

区分	主な意見	意見への対応
全体	<ul style="list-style-type: none"> 現状→課題→目標→方向性・方針→措置がスムーズに読めるように、第4章を現状・課題・目標（方向性や5章に、6章の課題をここへ）、第5章を方向性と方針、第6章を措置、第7・8章を把握調査・防災、第9章を推進体制としてはどうか。（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁協議の際に示された目次構成に添っているため原案のままとする。（協議会委員一同賛成）
4章の構成について	<ul style="list-style-type: none"> 保存・活用の現状を保存→活用の2つに分け、まず、保存の取り組みを記載し、活用の取り組みのなかで人材育成の取り組みを記載してはどうか。（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの協議会で保存のためにも教育分野、人材育成が重要との議論を重ねてきたので原案のままとする。
4章の内容について	<ul style="list-style-type: none"> 72頁の上の図のキャプションを修正すること（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 「わがまちあかし十景を紹介冊子」→「わがまちあかし十景紹介冊子」と修正する。（72頁）
5章の内容について	<ul style="list-style-type: none"> 5章扉の発掘調査他全体を通して「埋蔵文化財の発掘調査」にしてはどうか（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査→「埋蔵文化財の発掘調査」と修正する。（全体）
	<ul style="list-style-type: none"> 5章扉の「(3)文化財をはじめとする遺跡や建造物」が意味不明である。（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘部分を「指定等文化財や歴史文化遺産である遺跡や建造物」と修正（5章扉）
	<ul style="list-style-type: none"> 81頁の把握調査の課題で、「兵庫県の祭り・行事調査」で明石市の報告件数は8件と少ないが課題ではないのか。（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の3つ目に講や地蔵盆などに関する調査が進んでいないこと、掘り起こし調査が必要であることを記載している。
	<ul style="list-style-type: none"> 83頁の「生活文化」が文化芸術振興基本法では茶道・華道となっているので内容が異なるのではないか。（甲斐委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 本地域計画では文化庁の指針でも「生活文化」を幅広くとらえているため、「市民の生活に関わる様々な文化的所産である生活文化」と記載を追記する。
6章の内容について	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の課題については、「ひょうご教育創造プラン」にも関連しているので追加してはどうか。 歴史文化コーディネーターの育成実現に向けた手立ても明確にしてはどうか。 中学校向けの副読本の作成も重要である。（森本委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 89頁からの人づくりに関する基本方針に、「ひょうご教育創造プラン」との連携について記載を追加する。 90頁からの基本方針1に歴史文化コーディネーターの育成について「育成実現に向けた取り組みを進める」と追記する。 85頁の課題に「歴史文化遺産に関する地域教材、中学校向けの副読本及び」と追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の課題について、ガイドのボランティア活動に光をあてるためにも、腕章やバッジの付与、ガイド発表会の開催などが必要である。（西海委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の課題について、ボランティアガイドへの具体的なインセンティブ付与のための取り組みが必要である旨、追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> 保存事業の明石城に関する課題について、現地では本丸などに説明板がなく、子どもたちもその価値を理解することができないことが課題である。（藤本委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 85頁の課題の2番目の明石城に関する記載に追記すると共に、措置の8番に明石城の価値の理解を助ける解説板の設置を追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> 文化博物館は歴史文化遺産の情報発信の拠点であると共に、子どもたちの歴史文化教育の拠点にもなる。そのことを追記してはどうか。（竹内委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 措置24の文化博物館の常設展示の拡充を、「文化博物館の拠点機能の拡充」とし、情報発信の拠点、子どもたちへの情報提供の拠点となる機能拡充について追記する。

6章の内容について 福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施やマップづくりにすでに取り組んでいるので、「実施していない」と捉えられないよう、課題の表現に工夫が必要である。(竹内委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の課題の3点目の出前授業には「すでに進めている出前授業の拡充」などと追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・87頁の国際交流、地域間交流はこれまで、明石城以外の歴史文化遺産の魅力の整理ができていないため、発信、交流が進んでいなかった。これからの取り組みになる。(樫原委員) ・コロナ禍で大型バス利用の観光客は激減しているので駐車場の整備は課題にならなくなっている。(樫原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流などの課題については「これまでは、歴史文化遺産の魅力の活用や発信の取り組みが限定的であったが、今後は、国際交流、地域間交流、広域交流などの展開が必要とされる」と修正する。 ・「大型バスや乗用車の駐車スペースが少ない」との記載を削除するが、歴史文化遺産の周辺の住環境の保全が課題になっているため、現文のままとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化博物館でもオンラインの活用を進めてはどうか。(前野委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・措置22番の先端技術活用による歴史文化遺産情報の発信の説明文の文頭に、「文化博物館をはじめ」と追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・天文科学館のオンライン配信では手話通訳付きで、明石らしい取り組みである、また、オンライン配信にはスタジオが必要であるが、大久保の収蔵庫の一室をスタジオにして、歴史資料をオンライン配信してはどうか。(前野委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・31番の措置のなかに「手話通訳付きのオンライン配信など」を追記し、オンライン配信のための施設整備について検討することを追記する。
7章の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県の文化財防災マニュアルについての記載を追加すべき。(甲斐委員) ・国立文化財機構の中で発足した文化財防災センターとの連携についても記載すべき。(村上会長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・102頁の推進体制に、「兵庫県文化財災害対応マニュアル」との連携、ならびに国立文化財機構の文化財防災センターとの連携を追記する。
9章の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・105, 106頁に大学や明石高専も、歴史博物館、兵庫県地域創生局を追加してはどうか。(甲斐委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携する団体、協議会構成員などに分けて、主体を整理した上で、連携する団体として、大学、高専、歴史博物館、兵庫県地域創生局、校区まちづくり組織、文化財防災センターを追記する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・校区まちづくり組織をとりまとめているコミュニティ創造協会を追加してはどうか。(竹内委員) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災で記載した文化財防災センター(奈良文化財研究所内に設置)も追加してはどうか。(村上会長) 	
8章の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・明石川東部地域を重点区域とするなら、食文化特に魚の棚商店街を追加してはどうか。(竹内委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の重点区域の検討では、魚の棚商店街を歴史文化遺産として位置付ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・措置の案にあるマップであるが、東播磨県民局のフォトマップの取り組みも参考となる。(前野委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の重点区域の措置の検討で参考とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・明石城の北側の樹林がジャングルのようになっている。文化博物館からのアプローチにもなるので樹林の整備が必要ではないか。(藤本委員) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・サインを設置して、親子で巡るイベントの開催や、サイン表示板の工夫が必要となる。(森本委員、藤本委員、村上会長) 	

明石市文化財保存活用地域計画作成スケジュール

市民生活局文化・スポーツ室文化振興課文化財係

年度	項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2019 (令和元)	作成					第1回協議会開催 (8/23) ・協議会の説明 ・地域計画の説明				第2回協議会開催 (12/25) ・地域計画の作成 ①市の概要 ②市の文化財の概要 ③市の歴史文化の特徴			第3回協議会開催 (3/6) ・地域計画の作成 ④文化財の保存・活用に関する課題	
	調査				事前把握・現地調査（「明石市史」「明石の文化財」等既存の出版物等により現在把握している明石市の文化財群を把握し、その現況を調査する。）									
	調査				寺社教会建造物・市民団体調査（市内の寺社教会の文化財群を把握するとともに市民団体にヒアリング調査等を実施し、文化財の保存・活用に向けた課題を抽出する。）									
	説明会等					第1回審議会開催 (8/16)			庁内調整(11/27)		第2回審議会開催 (1/17)	庁内調整(2/7)	第3回審議会開催 (3/26)	
	情報発信												文化財冊子の作成 (3/25)	
2020 (令和2)	作成								第1回協議会開催 (11/17) ・地域計画の作成 ⑤文化財の保存・活用に関する方針 ⑥文化財の保存・活用に関する措置			第2回協議会開催 ・地域計画の作成 ⑦文化財の保存・活用の推進体制		
	作成										「明石市の概要」庁内照会			
	調査				校区まちづくり組織へのアンケート調査（校区まちづくり組織へ歴史文化遺産についてのアンケートを配布し、その回答に基づき地域の歴史文化遺産を把握し、データベースへ格納する。）									
	調査				寺社教会美術工芸品調査（市内の寺社教会の歴史文化遺産を把握し、その保存・活用に向けた課題を抽出する。）									
	説明会等							庁内調整(10/8)	文化庁協議(11/5) 第1回審議会(11/27)		庁内調整			
2021 (令和3)	作成		第1回協議会開催 ・地域計画の作成 ⑧文化財保存活用区域に関する事項						第2回協議会開催 ・地域計画書の素案決定			第3回協議会開催 ・地域計画書の確認		
	作成			パブリックコメント					文化財調査官への照会 → 修正	関係省庁 事前協議 → 修正	認定 申請	文化庁 認定	地域計画書・概要版印刷	
	調査													
	説明会等	庁内調整						市議会報告					シンポジウムの開催	
	情報発信												地域計画書・概要版の配布	

※ 明石市文化財保護審議会については、開催の都度、地域計画の作成状況を報告し、意見を聴取する。